



小郡市立大原中学校だより

大為小積

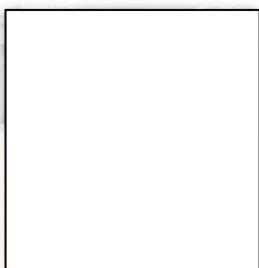


令和3年水無月15日
第6号
校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

「45年ぶりに本校グラウンドで！」 ブロック陸上競技大会開催

6月5日(土)、ブロックの陸上競技大会が開催されました。毎年利用している市の陸上競技場が使えなかったため、水はけもよく広いグラウンドをもつ本校で開催されました。歴史をひもとくと、**本校で開催されるのは何と45年ぶり**だそうです。



種目	選手名	結果	種目	選手名	結果
1年 100M		優勝	共通 400M		2位
		2位			4位
		4位	1年 800M		2位
2年 100M		2位	3年 800M		優勝
		3位			5位
		4位	共通 800M		2位
3年 100M		優勝			3位
		3位	2年 1500M		8位
		5位	3年 1500M		優勝
		8位	共通 1500M		3位
共通 200M		2位			4位
		3位	共通走幅跳		優勝
					2位

結果は、表の通りです。

開会式も表彰式もありませんでしたが、子どもたちが、**歯を食いしばり自己ベストをめざして精いっぱい競技する姿**をみて、胸が熱くなりました。

「みつけよう、自分の道！」 3年生 高等学校出前授業

「自分は、将来どんな道に進みたいのか」「高等学校でどんなことを学びたいのか」

「高校にはどんな学科があって、どんな学習をするのか」について少しでも具体的に知ることができるように、6月11日(金)、高等学校の先生方に来校してもらい、実際の授業を体験させていただきました。

これから夏休みにかけて、各高等学校の体験入学の場がたくさん予定されています。子どもたちには、実際に「**行く、見る、聞く、感じる**」等の体験を通して、自分自身をしっかりとみつけ、自分の進路を切り拓いてもらいたいと願っています。



また、**7月9日(金)には、3年生の進路保護者説明会**を開催いたします。ぜひ、子どもたちと保護者のみなさまが情報を共有することができるように、ご参加いただきますようお願いいたします。

「制限される今だからこそ…！」 その1 1年生ふれあい体験学習



6月2日(水)、3日(木)の二日間、1年生は「ふれあい体験学習」を行いました。本来ならば、宿泊体験の活動なのですが、今はそれがありません。でも、中止ではなく、制限される中で「何ができるか」を考え、体育館を中心にした校内で行うことにしました。

内容は、「合唱」「構成的グループエンカウンターエクササイズ」「クラスマッチ」「タブレットを用いて世界の国についてのプレゼンテーション」「意見発表」等で、すべての活動を子どもたちが自分たちで運営していきました。

入学して二か月、「**互いのつながいを深めるために**」、そして、「**集団としての力を高めるために**」、リーダーを中心に事前の準備や話し合いを重ね、先生の大きな声が響くことなく、自分たちで自分たちの活動をつくりあげることができました。

意見発表では、子どもたちから、「**役割を果たした達成感**」「**友だちのよいところの発見**」「**自分に何ができるかを考えること**」等についてたくさんの意見が発表されました。

自分たちの活動を自分たちの力で創りあげようと奮闘した1年生の子どもたちの成長を感じることができて、これからはますます楽しみにになりました。

はじめての 自治をめざした 二日間
つながる意味を 心に刻む
晴一

「制限される今だからこそ…！」 その2 2年生 クラスマッチ

6月4日(金)、2年生はこれまでがんばってこられた教育実習の先生方の奮闘を讃えるとともに感謝の気持ちを伝えるために、体育館でクラスマッチを行いました。

制限された中でしたが、「できること」を考えて、みんなで力を合わせて大切な時間を過ごしました。みんなで作った大切なとき、みんなすてきな笑顔でした。

子どもたちからは、「**活動を通して、クラスの仲を深められてよかった**」「**みんなのために自分の役割を果たすことができてよかった**」という感想がたくさん出されました。

実習の先生方も、子どもたちと過ごした精いっぱいの日々をいとおしむように、会を楽しんであるのが伝わってきました。一緒に過ごした子どもたちの笑顔を忘れることなく、これからがんばっていかれることを心から願っています。

あらためて、**温かいつながい**を感じることができたすてきな会になりました。



小さいけれど大きな感動 その6 「支える心 支える活動」

6月5日(土)、開催されたブロック陸上競技大会ですが、例年とは異なり本校のグラウンドで実施されました。競技場のような十分な設備が整っているわけではない中、前日の雨もあり、コンディションが心配されましたが、けが等もなく無事に終えることができました。

支えてくれたのは、**早朝から会場を設営していただいた先生方の奮闘と競技ごとにコースを整えてくれた本校の子どもたちの支える姿**です。

何事も、「**誰かが誰かのために**」と支えてくれる活動のおかげで成り立っていることを実感することができました。子どもたちの「**支える心・支える行動**」に心から感謝します。

